

大気のをきめ細かに調査する「環境監視測定車」を購入しました。購入費は車体や測定機など全額で2300万円。すでに設置したテレメーターの測定点以外の地域を巡回して測定し、市内の汚染濃度分布を解析して、発生源に対して厳しい指導をしていきます。

環境監視測定車



きめ細かに汚染分布を調査します

富士市の環境は、工業の操業に伴って発生するものや、自動車排ガスなどのように人間活動によつて発生するものなど、いろいろな汚染物質によつて破壊されています。これらの汚染物質から市民の健康を保護し、住みよい町づくりを行なうため、市は43年から大気汚染の測定体制を確立しました。

45年からはテレメーターシステムによる常時監視をはじめましたが、複雑多様化する公害問題を解決するには、それだけで十分とはいえません。気象条件や地形によつて、思わぬ地域の環境が破壊されるため、もつときめ細かな監視体制が必要になってきました。

そこで、汚染分布をきめ細かにより適格に調べ、適切な行政指導を実施していくために移動測定車「環境監視測定車」を購入しました。

市内の環境は、亜硫酸ガスだけではなく、いろいろな物質によつて汚染されています。したがって、測定車は各種の汚染物質を同時に測定するとともに、気象条件も観測します。測定された結果は、基準測定の資料となり、小型コンピューターで計算され、分析されます。

こうして、いままで以上に汚染状況が調べられますので、発生源を厳しく追求



【亜硫酸ガスなど9種類の測定機を登載】

するとともに、適切な行政指導を行なつていくことができます。

なお、測定車が本格的に働きますのは10月中旬からで、テレメーターの測定点や移動測定点以外の地域を、できるだけこまかに調査していく計画です。各地域へ測定に出かけるときは、仕事に支障のないかぎり、みなさんにも測定車をご覧いただきたいと思います。

コンピューターで結果をすぐに分析

測定車は70人乗りの大型バスを改造したもので、亜硫酸ガス、浮遊粉じん、一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素、炭化水素、オキシダント、風向、風速の9項目を同時に調べることができます。また、小型コンピューターも搭載されており、各測定機のデータが1時間ごとに打出され、その場で結果を知ることができます。

さらに煙道中亜硫酸ガス測定装置、煙道中ばいじん測定装置もつまれていますので、必要によつて発生源施設の立ち入り調査も行ないます。



【10月中旬から本格的に稼動する測定車】